

事業所名

こもれび西野

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

日

法人（事業所）理念	お子様の個性・ペースに合わせ、集団・個別で無理なくゆっくり療育します 明るく楽しい環境・様々な療育活動を通じ、自信とやる気を引き出せるよう取り組みます ご家族の不安や心配と一緒に考え、寄り添い支援します						
支援方針	・安心して過ごせる場所で「たのしい!」「できた!」を味わいながら、様々な経験を積み重ね心身ともに成長していけるよう支援します ・発達段階や特性など一人ひとりの育ちやニーズに基づいた支援をします						
営業時間	9時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	●基本的な生活習慣を身につけます…検温・手洗い・うがい ●健康・体調管理を行います ●生活リズムの安定を図ります…食事・睡眠・排泄・着替え ●構造化した環境設定と視覚的に見通しをもって行動できるようにします ●機能訓練の実施により、日常生活や社会生活の充実を図ります ●農業体験やクッキングを通して食への興味関心を高め、正しい調理方法や健康な食生活についての学びを深めます					
	運動・感覚	●トランポリン・バランスボール・平行棒などを使用し粗大運動による姿勢保持や筋力の向上 ●音楽に合わせて身体を動かす遊びや運動（リトミック・リズム体操） ●戸外の活動など触覚・平衡感覚・固有感覚を刺激する感覚統合あそび ●感覚の特性への対応 ●踏み台や滑り止めマットなどを使用し、適正な角度による座位保持					
	認知・行動	●視覚的に「日付」「曜日」「天気」を掲示し把握と日々の確認による認知形成 ●視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用して認知機能の発達を促します ●タイマーや音楽を用いて、活動の切り替えを視覚と聴覚で促します ●ブロック遊びによる空間把握、想像力構築の認知形成をします ●こだわりや偏食への対応 ●認知の偏りや特性による行動障害への予防及び対応					
	言語 コミュニケーション	●簡単なあいさつや会話などで、今日の気持ちを把握し代弁し言葉の表出を促す ●絵カードや具体物を用いて言語の習得や自発的な発声の促進 ●SSTにより具体的な事物や経験と言葉の結び付け、身体的・精神的・社会的訓練をします ●文字の読み書きの練習 ●話すこと以外にも文字・記号・ジェスチャー・絵カードなど 様々なコミュニケーション手段を使うことで相手の言葉を理解し、自分の意思を伝えられるようにします ●言語聴覚士によるアセスメントと専門的支援					
	人間関係 社会性	●見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びを通して自己理解・他者理解を養います ●アタッチメント形式により人との関係を築き、安心と安定を図ります ●戸外活動により、ルールやマナーを学びます ●ルールのある遊びやゲームの集団活動を通して、周囲の人と関わり、信頼関係の築き方や感情のコントロール方法を学びます ●アンガーマネージメントを通じたコミュニケーションの円滑化					
家族支援	●家族支援プログラム（個別の面談等）の実施 ●子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ●子どもを支援する輪を広げる橋渡し			移行支援	●各関連機関との支援内容の共有や支援方法の伝達 ●支援会議やサービス担当者会議の実施 ●移行先の受け入れ体制づくり、情報共有、利用にあたる調整		
地域支援・地域連携	●児童発達支援センター・保育所等の子育て支援機関・医療機関・児童相談所・教育機関との連携			職員の質の向上	●年間計画として、研修機会の制定 ●研修への参加や資格取得の積極的な推奨 ●子どもに関連のある機関との連携会議への参加		
主な行事等	●お正月会（もちつき） ●節分 ●ひなまつり ●端午の節句 ●農業体験 ●工場・施設見学 ●収穫祭 ●クリスマスパーティー ●お誕生会						